

専任教員の教育・研究業績

所属	職名	氏名	大学院における研究指導担当資格の有無	無		
体育学部	教授	成瀬 雅巳				
I 教育活動						
教育実践上の主な業績		年月日 (期間)	概要			
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)						
「中等実習リフレクション」 (実地教育IX)		平成27年12月	教育実習を終えた兵庫教育大学の学生に、パワーポイントや動画等を使って講義・演習を行った。内容は、実習生が自らの授業実践の振り返り、内省を推進することが主である。その他、生徒指導や学級経営などの課題についても、グループ討議を活用して授業を行った。			
2 作成した教科書、教材、参考書						
中学校2年の国語教科書『大阿蘇』 (三省堂刊)「読むこと」教材ワークシート		平成27年10月	教材ワークシートには、イメージマップをもとにして思い描いた風景や印象を文章で表現する課題、情景が伝わるように朗読するための注意点を考える課題を設定した。			
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等						
平成27年度 教師力スキルアップセミナー～実践編～ (丹波市教育委員会) 講師		平成27年8月	兵庫県丹波市の小中学校の現職教員を対象に講演を行った。具体的には、学校心理学の知見も取り入れ、「グループでの話し合いの必要性」「単元構成のポイント」「論理モデルを用いた指導」「メタ認知機能を働かせた指導」「ユニバーサルデザインの授業」などについて、自らの授業の動画やパワーポイントなどを使って行った。			
宝塚市コミュニティ・スクール研修会 パネリスト		平成30年8月	平成30年4月に導入した宝塚市のコミュニティ・スクールのモデル校に勤務校が指定された。これに伴い、コミュニティ・スクールとしての組織の在り方、学校側の体制、PTAの協力、行政部門や地域との連携等、校長として推し進めた内容についてパネリストとして発表した。			
平成30年度兵庫県青少年赤十字研究会 発表		平成31年1月	勤務校の校長としてマネジメント力を発揮し、教職員と専門能力を持ったスタッフ等が一体となった体制づくり、地域と強固に連携したコミュニティ・スクールの組織づくりについて報告した。			
令和元年度兵庫県青少年赤十字研究会 発表		令和2年1月	「安心・安全、みんなに優しいまちづくり」をテーマにして、子どもたち自身が学校安全・校区内安全について調査し、それをもとにして地域にある「まちづくり計画見直し委員会」と協議した実践を報告した。			
令和3年度兵庫県宝塚市立未成小学校研修会 講師		令和3年7月	「子ども理解と支援」をテーマにして、学校カウンセリングや特別支援教育の視点から、教育力のある学級づくりについて講義した。			
4 その他教育活動上特記すべき事項						
II 研究活動						
著書 (単著)						
書名	著者	総頁数	発行所	発行地	発行年月	
未来を創る教師に贈る 育て、育つための教師論	成瀬雅巳	167頁	学術研究出版	兵庫県姫路市	令和3年7月	
教職を志す学生のためのテキスト 教育行政	成瀬雅巳	108頁	学術研究出版	兵庫県姫路市	令和3年7月	
著書 (共著・分担執筆)						
題目/書名	著者/編者	初(始)頁～終頁	発行所	発行地	発行年月	
中学3年：授業をイメージした新教科書研究のツボ / 『教育科学/国語教育』57巻5号	成瀬雅巳 / 野口芳宏他編	92頁～94頁	明治図書	東京都北区	平成27年5月	
論理的にスピーチしよう / 『実践国語研究』40巻1号	成瀬雅巳 / 邑上裕子他編	47頁～49頁	明治図書	東京都北区	平成28年1月	
創造的・論理的思考力を育てる学習・指導の改善・充実 三角ロジックを使って論理的に話し合おう / 『教育科学/国語教育』58巻12号	成瀬雅巳 / 高木展郎他編	44頁～47頁	明治図書	東京都北区	平成28年12月	
総合的な学習の時間・総合的な探究の時間と特別活動の方法～Sustainable Smile and Smile～	成瀬雅巳 / 中尾豊喜編	32頁～48頁 166頁～173頁	東洋館出版社	東京都文京区	令和2年9月	
原著論文 (審査機関を有する学術誌に掲載の論文に限る。学会抄録等は含まない。)						
題名	著者	誌名	巻	初(始)頁～終頁	発行年月	
総説						
題名	著者	誌名	巻	初(始)頁～終頁	発行年月	
その他 (「症例報告」、「実践報告」、「研究ノート」等区分を記入)						
区分	題名	著者	誌名	巻	初(始)頁～終頁	発行年月
学会発表 (「国際学会」、「国内学会 (一般演題、シンポジウム、課題研究、講演等)」、「研究会」等区分を記入)						
区分	年月	学会名	演題名	場所	発表者名	

科学研究費等の取得状況					
科学研究費/その他の助成金/外部資金					
区分	種類	題目	代表・分担の別	期間	助成額(期間内の総額)
外部資金	スポーツ庁事業委託	令和2年度 運動部活動改革プラン	分担	令和2年10月～令和3年3月	¥5,000,000-□
特許					
特許名称	発明者/出願人	出願日/出願番号	公開番号	取得した場合 ⇒	公告・特許番号
Ⅲ 加入学会および社会における活動					
期 間	内 容				
加入学会					
平成18年8月～現在に至る	日本教育心理学会 会員				
平成19年3月～現在に至る	日本教育カウンセラー協会 会員				
平成20年4月～現在に至る	日本学校心理士会 会員				
平成23年7月～現在に至る	日本スクールカウンセリング推進協議会 会員				
平成26年7月～現在に至る	日本国語教育学会 会員				
令和2年8月～現在に至る	日本教師教育学会 会員				
令和2年9月～現在に至る	日本教育行政学会 会員				
社会的活動					
平成30年4月～令和2年3月	兵庫県青少年赤十字協議会 幹事				
平成30年4月～令和2年3月	宝塚市立高司児童館 運営委員				
平成30年5月～令和2年3月	宝塚市立図書館協議会 委員				
令和3年5月～令和3年8月	宝塚市公立学校教科用図書選定委員会 副会長				
Ⅳ 管理活動					
期 間	内 容				
委員会活動					
令和2年4月～現在に至る	全学教職課程委員会 体育学部教職課程委員会				
特別プロジェクト活動					
令和2年4月～現在に至る	運動部活動改革プラン プロジェクトチーム				
Ⅴ クラブ活動の指導業績					
1. 指導クラブ名	軟式野球部女子	部	2. 役職	コーチ(女子部長)	3. 部員数
					30 人
4. 現場指導の頻度	選択	① ほぼ毎日	② 週3日	③ 週1日	④ 現場指導はしていないが、計画や内容の指導
					⑤ 全く関与していない
5. 合宿指導	年間合宿回数:	3 回	延べ日数:	10 日	
6. クラブの競技力向上への取り組み	②	①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない			
7. クラブの教育及び部員の学習への取り組み	②	①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない			
8. 部員の就職指導への取り組み	②	①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない			
9. 年間の引率公式大会名	大会名		期 間	場 所	
	女子野球関西学生リーグ春季リーグ		5月～6月	大阪府内	
	全日本大学女子野球選手権大会		8月下旬	富山県魚津市	
	女子野球関西学生リーグ秋季リーグ		9月～10月	大阪府内	
10. クラブ戦績 (全日本選手権8位以上、関西選手権4位以上、関西1部リーグ3位以上の団体・個人の戦績を記入して下さい。)					
開催期間	大会名		成 績	場 所	
令和3年9月～10月	女子野球関西学生リーグ秋季リーグ		2位	大阪府高槻市古曽部球場	
Ⅵ 賞罰(職務に関する賞罰)					
年 月	受賞等機関名	内 容		備 考	